

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

和装本

ケ 5  
44  
35

禮  
術  
西翼之卷

大追物  
射子之部





大坪本流兩翼之卷

犬追物 射手之部

春生軒府藤定易撰

射手將裝束淨衣ニ籠手指テ先烏帽子懸シ  
スヘレ袴ノ括シメ綱草シモ留テ行騁シ  
佩ヘレ左皮ヘ蹈込テ其侈置右皮ヘ蹈込テ緒  
シノ結ヘシ扱素袍下着トモニ有シ脱也  
袖ヲ能リ重テ引揃サセテ巻ヘレ素袍ノ  
折目ノ上ノ角シ左ノ方ヘ尖し袖ヲカノ下ヘ取

下緒ヲ留ル如クニ右皮ノ緒ニ押込ヘレ上ヨリ  
下ヘ通シニ經クヘシ其時左皮シ引立卷タル袖  
ノ下ヘ上ノヒレヲ押父ヲ緒シメルヤウニ腰指シ  
サレテ能緒シメシ小チノ前緒ニ草ニテ小チ  
懸ラスシ後ヲモ糸ニテ小チト素袍ヲ闇ル者  
ナリ

如此下着テ袖モ素袍ノ如ク引揃外ノ方後ヘ  
太平巻テ下緒ノ如ク腰物ノ下ヨリ右ノ方ノ袴ノ

袖ノ帶ヘ押父ヘシ板行膳ノ後ノ左皮シ引立  
緒シメヘシ



小手掛トテ加味左ノ通ニ黒革ヲ細クサテ小手  
ノ緒ヲ下タケテ團ルシ下袖素袍ノ裏ニテ能  
緒シ留レナリ



如此手ヲ胸ニ組テ  
小手ノ緒ヲメカス

ヘレ

神如此前ヘ取テ後ノ方ニテ押込ヘレ

帝一時ノ事ハ文書ノ事ノ也多々有

袖ヲ巻板左皮シ袖ノ下ヘ行轡ノ上ノヒレヲ  
押入テ腰指シ加毎差テ緒シメテ後小手シ  
指シ緒ヲ納ル時ハ手ヲ捻リ組テ留サスヘシ

勿論小手掛アルヘシ

同前ノ領モ後ノ領モ物着タルサクニ羨敷キ  
合テ小手ノウツタレニ袖ヲ折目ノサク一寸計  
出レテ緒ヲ留ヘシ止灭ハ右ノ双肉ノ灭ニテ  
留ル也組數ハ定ス長五寸計也上ニ結フハ

ニ廻リ巡シテ夫シ斤輪繩ニ成ヤウニ罠也  
輪繩ニツ緒ノ先一ツ已上ニツ出スシ斤輪繩  
ノ先シハ鞭ノ取柄ノ如ク折入ヘシ鞭ノ手  
先シ折入スル如クトノ喻也

後ノ小手掛ハ黒キ系ニテ如此小手緒ソ  
申テ閑ルナリ是ハ小手ノ緒シ動カス間  
セシ敷タメナリ



如此小手ノウタレノ如クニ素袍ノ袖シ緒摺キシ  
ニ廻シ前ヘ取ヘキナリ

素袍ニテ大射タル時級シ前ニテ輪縄ニツ結  
テ兩方へ分テ袴ノ帶ニ押込タルモ吉一ツニ取  
テモ押込事モ吉有シ越テ後ニテモ留レ家  
モアリ然庄略儀也

小手ノ緒ノ長サ同指掛ノ長サ定ナシ小手モ  
腕ニ依テ仕合スル也道具ノ部ニ出タリ小手  
シ指射手具足シテ弔シ指ヘシ右ヨリ持テ  
左ヨリ取者也先一ツ巻テ扱上ヨリ引通シ折

返シニツ巻已上三巻也扱上ヨリ亦引通行輪縄シ  
テツ引崩下ヨリ上ヘ緒ト革トノ間ニ押  
入扱ラカシタルヲ又能捺テ押込ヘシ  
同小手ハ若キ射手ハ牡丹紅薄紅梅ナト  
然ニシ中老ハ白キ小手紐地ノ摸様宣カルヘン  
老体ハ紺柄葉ナト吉唐物或ハ紋紗ノ類  
御所様ノ用サセ給フ故ニ常人ハ用捨アル  
ヘシ小手ト云老人ハ冬扱着スル也小手内ヘ綿入

タルシム也然ニ將策ナトハセノ風情ニ依ル事ナハ敢テ  
定法ナシタトハ昔ヤウノ行騰ハ咎ノミセノ見ルホトニ  
切タル也其放實ハ自然物騒キ時若シ落馬モアヌイ馬  
ニ騎下ニモ右ノ加ク切タルハ煩ニナレトニヘリ夫モ本  
事ナレニ尤追物毎ニ落馬ナク騒レキ事  
モ左ノニ有間敷ケレハ昔ヤウ計ニテハ事  
筒間敷モ然ヘカラスタブノト能程端ニ餘  
ワ長行騰ノ土ニ付ホナルモ見思カルヘシ却テ

幽玄ナレ昔今テラ考テ能程ヲ計テ用ヘレ墓  
目ノ羽ナトモ昔様トテ餘リニ挾ク仕名モ的  
矢杯ノ様ニ見エ又當世トテ細麗ニ大鳥ノ羽  
シ少モ押スレテ作タルモ尚更惡ク覺エ然ハ  
芭ニヨリ羽ニ依ヘシ一偏ナルハ宜シカラ不才  
笠原宗信モ云レシト也

鞭シ持時ハ取柄一腕首ヲ入テ持ヘシ叔指  
掛ヘ長高指ヲ掛ル也馬上ニテハ取柄ヲ緒

持スレテ 下シ 持也

沓ハナメシ筒、花迷ホタント也。靴ヲ佩時、左ヨリ、キテ右ヨリ脱ヘシ。雜色若黨出次時モ同前也。

射手馬場ハ乗入時、先假屋形ヲ見テ、繩際ヘキ寄ス。ヘレ檢見モ同前タル。ヘレ扱繩際乗寄ルニ四ツノ角ヘキ寄向敷也。尊貴ノ人ノ寄ラル、或亦ハ古キ射手ノ詰ル所ナル。ユヘニ用捨ス。ヘレ犬追物ニ四ツノ賞既馬立

所トハ此死ノ事也。其外ハキ寄テモ苦カラズ。本式ニ手ノ大ノ時、キ寄可兼テ定アルカ故共如ク乗入可ル也。繩ノ違目ハ檢見ノ馬和所成向射手キ寄ルヲアルヘカラス。初繩シ闇テ削際ニ暫ク扣心シテ頓テ繩ヘヒレト寄テ先カ子立テ馬ノ前足シ繩際ニ有ヤウニキ寄テ檢見ラ待シ檢見御大引立コトヲテ鞭シ放繩ヘ馬シ乗入テ。此時射手馬シ直ニ繩副テ其俗矢搘シスヘレ矢シモ

番スレテ檢見ニ催促シセラレテ矢ソ番タル  
ハ無念口惜キ更也引込ノ犬ヲハ射ヘカラス  
番タル矢ツ指外シントクスヘレ引込犬ト  
ハ一番ニ引込タル犬ノフ也此犬ハ傳授アル犬也  
繩挾キトテ繩ノ違目ヘ少レノ内チ寄スル  
事アルヘレ其灭ハ檢見ノ才寄灭ナルユヘ  
檢見ヲ見テハ此方ノ馬ヲキ退シ急ニキ退  
タルハ宜シカラス檢見ノ白ハシモ見テ夫ト氣

。貞辛

遣アリテ檢見ヲ教スル事然ヘキ事也亦檢  
見繩ノ内ヘ乗入引込ノ犬過テハ其後ハ違  
目氣遣有間敷也犬射間敷ド思フ時ハ違  
目ヘキ寄繩ニモカ子ニモ立テ扣ヘシ物面一  
テ角杯ニ立休事ハ有間敷事也  
本式ノ犬ニハ昨スシテキ入時運クテ大旱ノ  
放サハ則馬ノ定ソ出スヘシ是ハ五足モ十足  
モ果テキ入時ノ事也檢見キ入時又

犬ノ方放サスハ馬ヲ 躍々程ニ勇クトキ  
入足シ出スニツベヨリ 二杖ニ一杖ホトキ入  
テ足シ出ズ ヘレ其節 矢取畏テ居時ハ  
前ヲキ通ヘレ立テ居ハ後シ通ル也

馬場ヘキ入ル時ハ矢取西人向レモ馬ノ後  
ニアルヘシ一人ノ時モ同前也

貴人ヨリ先ニキハレ事アリ後ニ貴人御乗  
入アラ、削際邊ニ馬ヲキ除一キ也犬初ヨ

ヌ先モ亦自然犬始リテモ同前也

主人貴人御扣上手ハキ寄スル事 アル  
間敷也下手ハモ斟酌仕ヘレ若シ飾馬ノ足  
ナトヘ矢ノ中ル事ミアルユヘニチシエ引外  
ラカン杯レテハトノ心得ニテ我立タル下手ヘ  
主人貴人キ寄ラレ候ハ此方ハ棄逐ヘシ  
主人貴人削際邊ニ御扣候ハシニ繩ニテ  
矢シ射置テ足シ出スニ繩ト貴人トノ間

近クハチ縄ヲ遣ラ 御後ノ方へ足シ出ス  
ヘシ其時モ御身遁テハ静ニ躍々乗テ夫<sub>高</sub><sub>テ</sub>  
末ニテ足シ出スヘキ也

ユスロイ合ト云事アリ 射手コトニ其心得アル  
（キ也縄ノ間ノ間サルヤウニ互ニ見ハカラ  
ニテユスロヒ合テ 迂犬ナキヤウニ馬ヲ乗ナ  
ラヘ射シエ也

射手ハ心ニ懸テ能見知ヘシ出ル方ノ定リタル

犬又ハ能尼外ニ悪キ 犬縄ハ惡ケレモ外ニ能  
出ル犬アリ 犬シ見知サレハ生得外ナトモ  
出ス足ノナキ 犬杯シ外ニ掛リナトス六  
見苦敷見ユル者也 犬シ見知テ心ニ懸レハ  
自然ト矢業宜レキ也 出ル方ノ定リタル  
犬杯シ貴人亦上手ナトノ外ニ懸ル時ハ  
卒ノ俗參也 射手ナトハ合ノ馬ニモナス又  
縄ナトニテモ射度灭ヲ扣ヘ用捨有ヘシ

一番ニ放ス犬シハ引込ノ犬トニ也此引  
込ノ犬ヲハ射サル法也是故ニ指込シテ  
ニ走目ヨリ射ヘシ毎矢ノ時ハ幾度モ指込  
シスヘシ百足ノ間ニモ指込ハ毎度心懸  
ヘシ亦馬ヲキ出ス事ハリ込ノ犬サ  
ハ過キハ走目三足ニモキ出スヘシ若  
カラス

矢突之事

古来ヨリ犬追物ハ之矢突トニ、繩テ  
手推扒馬手切繩馬手是四ツ也外ニテハ  
チテ馬牛直違チテ馬手切是四ツ也  
以上八之矢突加其檢見矢突シ向レ候時  
ハ此分シ若ヘシ亦武田ノ犬追物ニ馬場ニテ  
走犬矢突ハワ品ト云事アリ則左ニ記ス  
チテタタハ龍籠下　チテタタハ推扒  
チテタタハイユキ　チテタタハトリケ先

うちタタハ公ケノ先

うちタタハ塙チノ本

うちタタハ三ノヨリ 馬テタタハヨコナキ

如此、傳コレアリトイヘニ心得カタシ

猛見矢死ト向レ候ハ、うちナラ、うちテ馬チ  
ナラハ馬チト答ヘキ也亦推松時、是モ推松ト

答也馬チ切繩馬チ同前也

直違うちチノ時モ直違うちチト答ヘし入無  
スカフうちト申ハ惡レキ也スカイうちト申

タルカ吉然モ向ヲ射タル時、向直違ト答  
答手ニ射タル時ハ直違うちチト答ヘント  
定綱ノ云レシ也

馬ソカ子ニ立テ馬チ切ヲ射テハ物ノ  
尻シ切テ出スヘシ但レ主人貴人御控ア  
テ足出サレスハ物ワカレニ成ル出スヘシ此時  
ハ推れニ成間矢死推松ト答ヘキ也矢ハうち  
タルニヨリ馬チハチ一此時ハ折ヘキ也

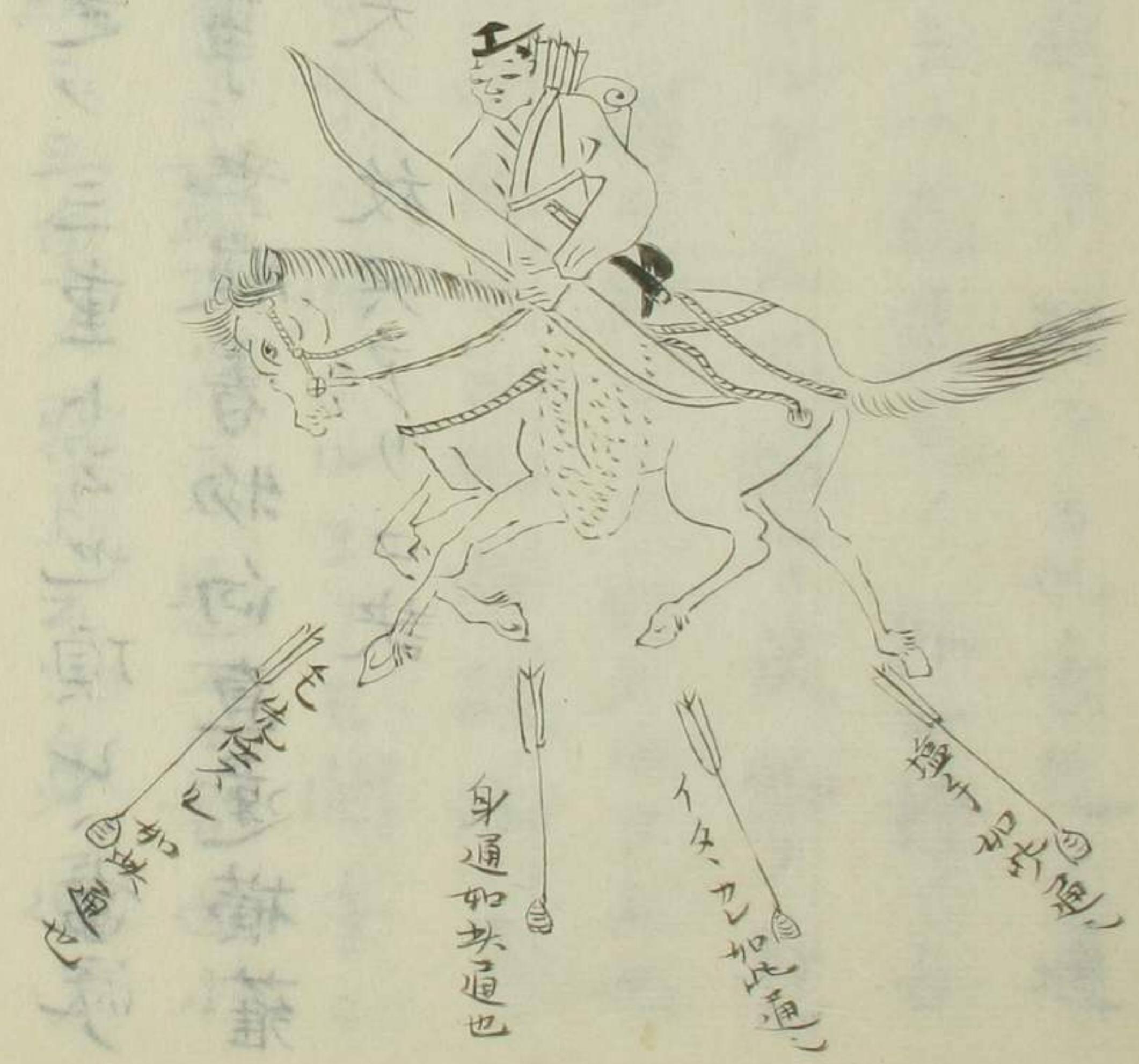
馬手切ト云ハタトヘハ上手誥リテ下手  
透アラン時ノ事ニテ馬シカ子ニ立テ犬下  
チシ出ルシ馬ノズノ下ニテ射テ同馬ヲモ手  
下へ出スヘシ若レハ馬手ズニ立ト云凡射ダ  
ノ同前也ちノ卒箸シ越テ馬手ニテ射能  
猶モ縄近カラシタメカ是ハ昔矢灭也當其射  
者モ稀ニ亦強テ好ヘキ矢灭ニテモナレ  
押カ當世嫌フ矢灭也是亦謂レナシ夫モ射様

依ヘシ射テラ隣タル押爪ワ物淺ク射名  
面白カラス我馬ノ尾下シ出ル大シ腰ヲ  
添テ押爪リテ尋常ニ射タル猶宜レキ也  
弓手推扒ト云事于今初サル矢灭ルシ誰  
人ノ云出レテ射間敷ト一偏ニ心得ルコト有  
ヘカラス  
矢放灭ノ事毛先ニ任スルト云ハ蒼手  
角ニテ射ヲ云也身通ニテ射テ候ト

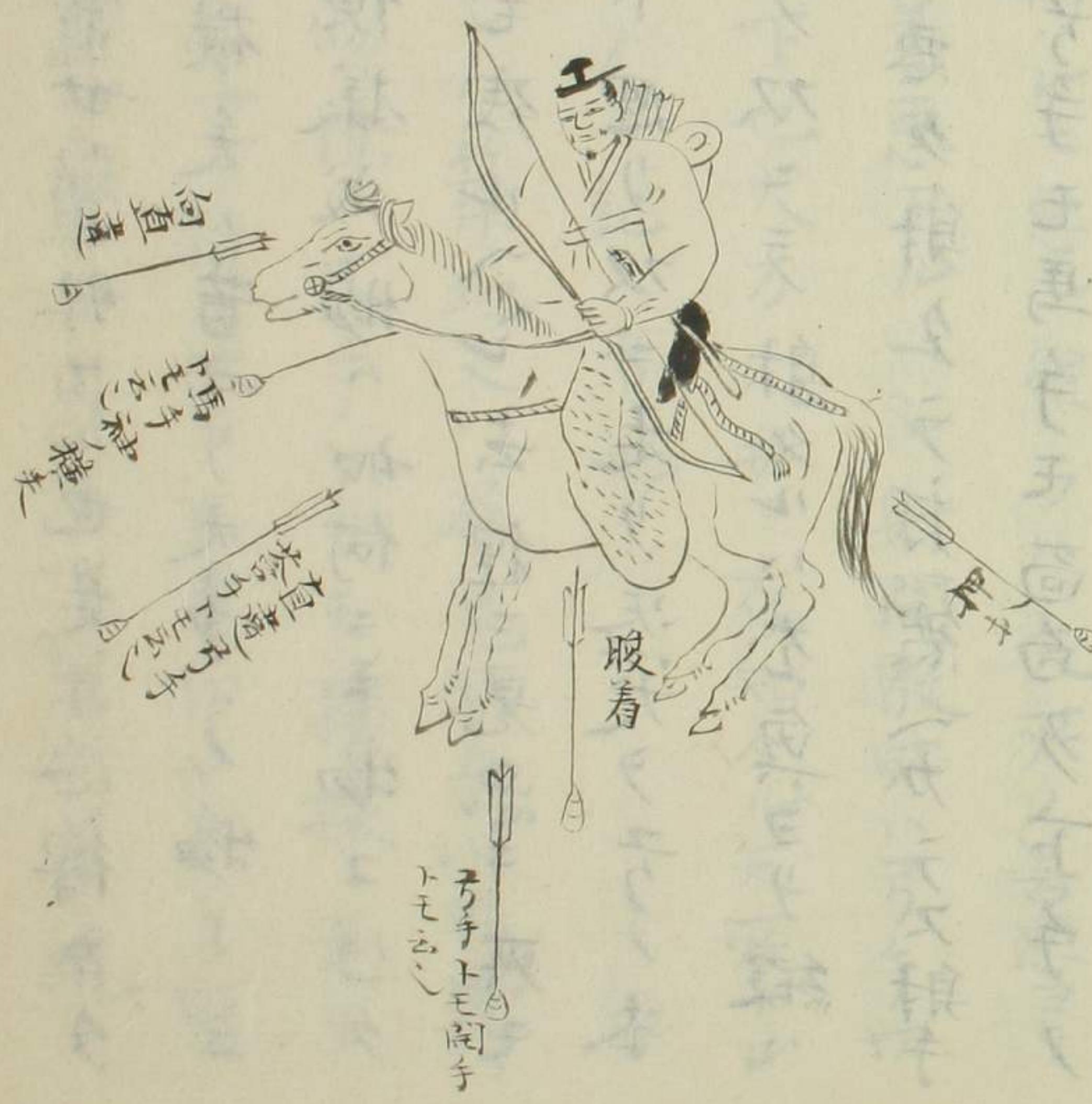
射手ノ身通ニテ射シテ也舌先ノ通  
ミテ射タルトハ苞蕉毛ノ外レ鎧ノ舌  
崎通ニテ射ルソニ也塩手成物ヲ射  
トハ准ハヨリ猶モ惣リテ射タルヲニ也  
是ソ放火ノ四所トニ也惣別外ニテ  
ノチ手ハ蒼手ニ射タルヨリモ閑手ニ  
射タルカ射手ニ蓋アリテ見ユル者也小  
笠原流附紙ニ三重ノ習トニハ身通り

頂レ塩手是ソ三重トニ也頂レハ當流  
舌崎物ノ事也脇着物向直違横薙  
物馬手カ亦矢ノ放火アリ口訣

射方圖



射方圖



馬守ノ物當世強ニ好サル也是亦心得カタ  
ニ馬守ノ横矢ハ昔ヨリ大事ノ物ト云  
カレトモ横様成物ハ如何ニモ物ユハク  
矢束ナトモ残ルヘシ去程ニ見悪キ、灭モ  
有ヘレ己ト廻リノニ走リ添犬ヲテノ本  
ヲ越テ馬ノ次ニテ射タルハ左奥ヨリ綴ハ  
テテ成瓦惡ク射タランハ然ヘカラス射手  
ノ射タルハテテモ馬守モ面白ク下手ノ

射タルハ何レモ惡シ然ラハ矢灭ノ善惡ヨリ  
モ射ヤウニ善惡アルヘレ射間駁天ニテテヤ  
直違馬守以下也大方人毎ニ存知タル矢灭ナレ  
に後代ノタメニ記ス者也  
外ノ物若レハ糞地又ハ屏見物衆川底風精  
何物ニテモ物際ニ馬守ヨリモ横様ニ走リ  
切者シ十文字ニ指渡テ馬守切ヤウニ切  
渡レテ 射置テ馬シ馬守ヘ折出シテ既ニ

スカハ、直違コトニヘシ若レ物ニ添テ弓  
手ハ折出ストモ馬ノ折様ニ成ストモ矢ハ子細  
ナキ間カナク入ヘキ也外ミテハ弓手馬  
手馬手切直違コトキハ外ハ右ニ記ス如  
ク矢アルヘカラス 押ハタリ凡直違  
弓手タルヘキ也

馬手切右今人毎ニ好ム矢アル也但レ是モ様  
ニ依ヘレ已ト十文字ニ切後若レ廻リス

走り派者シ手綱シ遣テ馬ノ足下或ハ唐  
ノ七寸ノ本ニテ射タル馬手切ハ左兵元者  
也是シ悪ク心得テ十文字ニ馬手ニ走習  
物シ先弓手ニテコトシ引一ノルモアリ叔射  
サルモ笑敷追々ハ射タルモ弓手トモ馬手  
切トモエカタレ本ハ馬手十ラハ馬手ニテ  
射ヘシ若レ馬場未モアリ、犬モ走切ヘキ  
ナラハ手綱シ遣ヒテコト弓手ニモ逢ヘシ夫モ

善惡先馬チニテ 矢シ射置テ 取物ノ  
尻シ押切テ 予チニ逢ヘレ 是を得へ  
者也

馬ノ折ヤウ 予手直違 予手推ハシ 射テハ  
馬シ馬手へ折ヘシ 亦馬手馬手切繩馬手  
シ射テハ 予手へ折ヘレ 内外共ニ 同前也  
内馬外馬トヨアリ 警ハ 予手ト馬手  
カトニ馬テ立テ 射 時其矢何レモ 繩ニモ

蹴ミ同程 ナラハ内馬ニ足シ出スヘシ 捜見内  
馬ノ矢ヲ賞スルカユヘニ 其に得アルヘシ  
内馬トヨハコロ手成丘馬手切成丘纏ニ近ク  
足シ出レタルシ也 予手ニ馬ヲ立タル射  
テハ馬手又ニ立タル馬シ馬手ノ方へ成  
テ繩ニ馬ヲ添テ 足シ出レタル内馬す  
亦馬手双ノ者ハ 予手ノ射手シ已カ 予  
ミナレテ繩ニ馬シ添テ出セハ内馬也是故ニ

馬ノ足ノ出レ様ニ依テ外馬ニナレハ捨ル間  
能心得テ足シ出スヘキ事也勝負ナトノ  
時ニ毎度此心得アルヘシ内馬外馬トニ一  
段ノ秘事也

犬シ射ルニ繩ヘ指込ト云フアリ指込ニワノ習  
アリ一ツニハ矢攝シシテサ起サントスル時  
繩ノ内ニ蚕目ヲ指込ルヤウニ矢前ヲ下シ毛  
蚕目ノ上リタル矢攝ハ惡シキ也ニワニハ腰指

ノ蚕目ノ身寄ノ方ノ蚕目繩ヘ向様ミキ  
テ馬ヲ立ルシキ也是亦射手ノ秘事也  
繩ニ馬立兼ナクルシハ馬シ繩ニ副テ  
立テコラ引ヘレ犬上手ヘ走出ル時七寸ノ  
下三テ射也本消シ越テ馬手切ニ射  
ヘレ  
同馬ノズノ方ヘナキテ出ル大ソハ手繩シ捨  
テテラシリハ自弓チニ逢者也手繩シ早シ取サレ

馬ナキレテ犬ニ別ヌニナリテ思レキ也  
繩ニ能立馬ヲハ規ニ立テコトシヘ出ルゾシハカ  
起レテコトシ引思程下テ繩際ニテ放スヘ  
矢束シ能引矢立音高ク逞ク射ヘキ也勿論  
追矢成ニ内ニ有ヤウニ射ヘキ也

捲廻ル大繩内ニテモ射ヘレ繩ニテノ決达ナ  
ク外ノ順舉タルヘ然凡繩ノ内ニテ矢ヲ  
不教繩ノ内ソ矢シハケナカラ欠通ルコト

有ヘシ其時、指迫シスルカ宜レキ也亦番タ  
ル墓目ヲ捨テニツ目ヲ取テ射ヘ佐々木ノ  
家ニテ用ル事也是モ然ヘキ」也矢シハケ  
ナカラ欠通指迫モセヌ矢ニテ射、矢能凡  
檢見ハ捨ル也馬ノ外へ出タル時、指迫セ  
サルモ如此也

外ニ掛ル時手繩ソ残スコトアリ手シ高  
立テ射ル射チハ残ス者也手繩ヲ捨ル

心ニテ 越ス也 手綱ヲ早クレニテ 本ニ置  
ハ越間敷也

二目シ 取事ハ身寄ヨリ 取ハ悪キ也 腰シ  
能居ヘテ少レ拔出レニ度ニ拔ヘレ 小笠原  
家ニテハ腰細ニ馬テハ我身ハカリ 間キ  
一度ニ拔シ 一度ニ度ニ拔ハ未熟ノ射手  
ト云々 然ニニ度ニ拔タルカ宜レキ也 拔  
トイチャルヒヘシニ目シ 腰指ヲ 拂フ

事モ在ヘシ 腰指シ 亦指ス時、テシテテ  
三掛本附ヲ 土ニ引ワリテ 両手ニテ 行騰  
緒ワリ 寂ケ右ニテ 矢シ 指ス ヘシ 戟ト指シ  
カタクハ矢取ノ後、ハ馬シ乗退馬シ 静  
ナテ 矢取ニ差スヘレ 弦シ 駒ニ敷テ 差ス  
コトモアリ 出過テ 見ユルユヘニ 貴人ノ外  
ハ 料敵アルヘシ 常人ハ 弦ト ノトノ間ニ  
腕首シ 差入テ 腕ニ掛テ ノチノ本シハ士

付テ行騒ナト直レ矢ヲ指スヘシ其外  
用事シ叶時右ノ如クスヘレ

勢子矢ト云事アリ犬出サルシ貴人ナトアレ  
シ射ヨト仰アル時其傍ヤ起サス指付テタラ  
ト引テ射ヘシ星シ勢子矢ト云也犬ニ中ル凡  
矢ニ成サル事也

残ル矢ト云事是ハ斤犬折ノ繩シ坐スカタ  
タ射手キモ起サス唯能リテ射也是モ檢

見切者ナル射手ヘ射ヨトアラハ射ヘキ也射手  
計テ射ルヲアルヘクラス  
一タクリ聞ト云事アリ外ニテ犬ニ遠キ時近ク  
逢ントテチ絅シ遣馬ノ物合近クナシリ  
ヒト云也聞トハ大ト馬トノ間近ク口邊成シムクナ  
サントヲチ絅ソ遣ヒテ馬シ退シ云也チテ馬  
手同前也

外シ射時ハタクリ聞ト云事シ能ク心得テ射

ヘロ邊ニ成時ニ犬搔留ルコトアラハ其ニテ  
向ク也犬亦走過ハ前ノ如クマクリテ能寄  
合射ヘキ者也何度モアクリ向テ射タルカ観  
摸ナリ

引々越々トニ事アリ是ハ外ニテ馬チシ射時  
チノ本シ越コト馬チニ限リタルフセサレハユリ  
チシ越テ射トテ馬ノ平首ノ上シ越ハ立髪ニモ  
障リ物合シクル者也能々チ起レテニシ其

俊上ニテ引如何ニモノク腰細ニ腰シヨリテ射  
ヘシニシハ馬ノスノ上ニテ伏セテ馬チニ越タ  
少能也箇様ニ射レハ引ト越スト射ト一拍子ニ  
丸ニ依テ引々越々トニ也一段ノ秘事也

四寸ノ羽引檢見ハ既ニ引カトニ捨コトアリ然密  
少引タル矢四寸六過スト思ヘモ檢見射テ置ト云  
其時射手引テバヘガニナク候凡四寸六過スト  
見テ候ト申時四寸六過テ候トアル時是モ遠近

お申様ニ御沙汰アリテコソ善惡ハ見一候ヘト  
ト申時檢見四寸シ取テ見ルニ四寸ニ過ハ是既ニ及  
ズ四寸ノ内亦ハ四寸ヲアレハ檢見馬ニ乘論  
ノ矢ナクハ引ヨ御大引込ト申也是ハ檢見ノ事  
ナレル射手ノ心得を矢立ヘキ第一也

下トニ跪十文字是モ思ク跪ニ掛リ能跪ニ掛ラス  
ト見ル時檢見射テ置ト云射手ハ能跪ニ掛テ候ト  
申檢見掛ラストアリ是モ御沙汰アリテコソ捨

レモ候シツレト申ヘレ然時ハ下トニ跪ナレモ跪  
見テ馬ノ足シ出スヘキナリ  
掛ル掛サルハ射手殊ニ別アルヘシ一掛リタルハ元  
末馬ノ足シ出掛リ果ヌ矢ミテ候ト申スヘ矢ノ掛  
ル程ハ凡矢ノ筈ヲ目當ニスヘン夫ヨリ深クハ如何候  
ニワ掛ル事アリニ騎ナカラ足シセシ何レモ掛リ果ヌ  
矢ニテ候ト申スヘ其時檢見馬ヨリ下テ見ルニ何  
レモ繩ヨリ下トニ落ル時檢見ヲ早く遣シ早落タルヲ

賞ス此時に馬ニ撫見衆早落タル矢シ是ヲ向繩ト  
向ス亦繩ニ及ク掛リタル矢アルヘシ少退テ能矢アリサ  
キニ及ハス繩ヨリ退キタル矢ツヘル其時繩射掛ル  
射チサリトテハ此矢ニ繩ニ及ス矢ニテ候若レ掛累サルハ  
繩近ニテアルヘキ間捨ラル事ハ無念ニソ候ト射手申  
スヘシ其時檢見ハ掛リ早又段ハ左モ候ハサリトテハ絲  
ナキ矢アルテハ是既ニ及ハストアルヘ如其檢見色ニサ  
クニ各ル向射手モ能々弓箭アルヘン掛リ

掛リ果子ハ繩近ノ矢ナル間殊ニ何ト申ナカフ能  
分別シテ又ヘキ矢也射手ヲヨリ簡心得ハ同様  
事ニアルヘキ也

連ル別ハノ矢是モ射テ置ト申ス時比矢ハ連  
又矢ニテ候ト射手申スヘシ檢見ハ連テ候ト  
アルヘシ是モ御汝汰アリテユソト射手申ス  
ヘシ

間矢殊ニ余多アリ此文ヘキ矢ハ先小笠原武田

云ハ組ノ矢也向矢ノ趣ハ彼日記ニ見ル向記ニ  
及ハス其外ノ間矢ハ常ニハ沙汰ニアリカタキ  
コト也檢見ハ因ニ跣ニ近キトアリ 射手ハ能跣  
アルウヘニ是モ御沙汰アリテヨソト申スヘン  
何レモ馬ノ足シ出ス時ハ矢十取ワソト矢取  
ニ申スヘン

射走ラカシタル矢弓杖ニ金ル餘サルノ沙汰ナ  
久是モ常ニ支サル矢ナレニ勝負ノ時ハ射

手文ハシ

二色ト音躍矢何レモ檢見ノ心得有ヘキ矢也  
サリナカラ射手心得肝要也ニナリシトレ矢ハ  
唯射手ハ馬ノ足シ出レ檢見ニ善惡サハカス  
ヘキ也

矢多アル時我矢コト思ハ、如何ニモ馬ノ足ソ  
短ク出レテ頓テ皆折テ檢見ヲ見ヘシ馬ヨリ  
左ヤウニ成カタ久我面ハカリ捺向テ檢見

見ヘシ

能矢シ射タリに射手ノ仕方ニ依テ捨テル、  
事アルヘシ馬シカ達テ出スカ矢灭ラ答達或  
鞭シ打或馬ノ足繩ノ内ヘ踏入事是等シ捨  
テル間能タ心得ヘシ

射手檢見シ乞トヨコリ手ノ鎧ヲ蹴及シ能  
引テ内傍尔ニテ放ツニツ日リ番外傍尔  
内ニテ放スフ也近代是シ射ル人ナレ

犬ニ追スカフニ尊貴ノ人ノ御方ハ高テ矣シ放ス  
車アルヘカラス又犬ニ殿、策シカヘレ犬ノ足達  
久馬シ居テ犬ヲ前立テ射ヘシ功者ノ射  
手ハ如些ナルヘシ外ニ處犬アリテ馬場中  
ニテ其俗犬ヲ追フアルヘカラス指外ラ  
シテ射ヘキ也

馬ノ前シ走渡ラハ右ノ手綱シ遣テ直一

文字ニ渡レ切突ニテ 射フモアリ

策ヲ打押掛テ引放サ一トスル時ツヒ伏テ  
馬ノズノ下ニ走入ラハ指免シ披クチ綱ニ  
うちシ引テ深バト落下ク射キ者也矢束

少シ残レハ檢見射手置ト云也

弓引シホリ犬ノ毛ソ人カルホトニ續テ向  
近シテ射コト中テモ面目ニ非ス况外タル  
ソヤ心得ヘシ身通ナラハ指免シ馬ヲ居

犬シ前立テ射ヘシ亦別ズナラハ引返馬  
シベクリ掛射ヘキ也聞ベクリノ事ハ犬  
人趣ニ依ヘシ

指外ノ事ハ尊貴ノ人者物逢近ク又ハ物  
ヲモ仰ラル、時ハ必ス指外ノスヘシ勿  
論勝負丈ナトノ節ハ指外セサレハ矢ハ能  
ニ檢見捨ラルヘレ惣而馬屎果ヲ出サ  
トル時モ早ク指外スヘレ繩ノ内

一馬ノ足蹄入タラハ猶以テ 指外ラスニ  
キ者也 指外ナクハ矢能ニ 獲見射テ  
置ト云也 畏シハ馬シ お退テ 散サセラ  
馬シ本ノ 死ヘ棄寄スヘシ  
指渡レテ 射タルト云ハ向遠キ物シ 射タリ  
シ云也

星敷射タルト云ハ指テ見灭ハナケレトモ墓  
目大キニ矢音高ニ射テ下リ深キシ云

也  
ナヤケナキト云々上手 抱ツアリテ馬ノ呑下  
へ走入大弓矢束ヲ引テ能下リテ射タル  
シ云也

射コホシナト云ハ矢數ナキ時ツ云也  
矢弱成射手ト云ハ矢束ツモ引ス矢音杯  
モナキツ云又矢弱ナル射手トハ云ヘ凡矢  
強ナル射手ト云ヘカラス

矢比深ク下リテ射タルト云シコウソト下  
リタル矢ト云タル吉一向下リタル矢ナト、  
ハ云ヘカラス

犬ノ矢咎ト云ハ犬ニ中リテ馬ヲ出レテ于  
ノ方ヘカツシ曲メテラワト云テ馬ヲ居ルヲ  
矢咎スルトハ云也

馬ノ怠ト云ハ繩ニテ疾ト射付テ遙ク馬ヲ  
出スシ云也

繩シタルキト云ハ能矢シ射テ馬ヲ出サント  
スルニ遙ク出ルラ云也

馬ノ蹴ヤト云ハユラシ引ハ繩ニテカイテ

出ル馬シ云也

歩出ル馬ト云ハ矢ヲ放ス時ソロクト歩

出ルシ云也

投馬ト云ハ繩ニテユラシ引ハ尾足ニワラア

敷テ前足ニテ投掛レシ云也

ナカレ陶テト云、馬ノ足シ遠ク出レタル  
シ云也

下地ノ馬ト云ハ鹿子足ノ馬シ云也鹿子シ細  
結フ如ク足間近ク鞍ノ上閑ニ行ク馬シ  
云也猫足大走ト云躍ノ閑ナルシ猫足ト  
云躍ノト、口々走シ犬走ト云也共下地ノ  
馬乗入マウハ押入搔入程ヲ教  
ヘレ

タカセナルヲ射テト云ハ犬ノ背ヲ射テ墓  
目連タルラ云也  
シナシ腋シ射テト云ハ腋骨ノ外シ射テ  
下シタル矢シ云也  
細尾シ射テト云ハ大ノ尾シ射タルシ云也  
惣シテ犬シハヌ尾足ヲハ射サル矢  
云也  
犬ノ出ル方シハサスト云也

小當ノ物ト云ハ引チノ小キ物也

射手策サ様ハ高クト引上テ上ニ暫ク持  
心ニシテ丸文字ヲ書ヤウニヘンマルニイヤ  
ケナクシツテリトサ也其時後シ見サル  
者也一ツオヘシ續テテハキサル者也  
策シカテ頓テ馬シ留ル事一段笑敷更  
也其子細ハ馬縫カ又ハ立止ル時ノ策ニ  
テヨソアルニ頓テ留ヘキナラハキテ 益

ナシト宗勝宗賢ノ云ケル也

策シ習ナクシテ打候ヘハ矢ハ廃ルナリ  
外ニ移ツテ馬ノ廻ニ依テ策サヘシ百足

ノ物ニ二度ハカリハ苦カラス

策折タル時ハ矢取ノ後ニテ取替ノ策ヲ  
取ヘシ此時ハ下馬セサルモ苦カラス

射手汗流ハ汗拭シ以テ拭ヘシ手綱ノ露  
ミテモ拭ヘシ顔ヲ少下テ拭タル吉縄降ニテ

モ苦カラス

龜カニ度時ハ子龜シカムヘン但若衆ト  
似合サル間汗ニヨソヘテ汗拭ニテカムヘン

當流宗師

日本武尊

迎来流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎

義家

六條判官

為義

大坪流

湯山入道中原

玄性

大坪文部大輔

廣秀

村上加賀守

永幸

齋藤備前守

國忠

齋藤安藝守

好玄

齋藤備後守

忠玄

齋藤齋宮頭

辰遠

丹羽住僧了慶坊

元子

齋藤求馬

辰光

大坪本流

齋藤主税

定易

佐藤印樓

辰光

佐藤主税

辰光

大坪本流

辰光

佐藤主税

辰光

